

「わたしはだれでしょう？ Part.1」

名 前		得 点	/10
-----	--	-----	-----

	だれかな？	説 明
①		どうして、伝染病やききん、反乱など悪いことばかり起こるのだろうか？私や私の親戚たちが悪いのだろうか？なんとか仏教の力で、この不安な世の中をしずめたい。どうすればいいのだろうか？
②		私は、邪馬台国の女王だったと中国の記録に残っているのよ。でも、わたしのいた「くに」がどこにあったかは分かっていないらしいわね。ふふふっ。みんなはどこにあったと思う？
③		百姓から関白という政治のせきやーでもほぼトップの役職にまでなるなんてすごいがね。天皇に近い公家以外で関白になったのは、わしとわしの義理の息子だけだわ。有名な大坂城もわしがつくらせたんだわ。支配を続けていくために百姓への支配を強めたけどね。(名古屋弁ぼくしてみました。)
④		私や私の弟子たちが作った日本地図がすごく正確だって、何年も後に来た外国の人までびっくりしていたらしいな。年をとってから日本中を歩いてまわるのはとても大変だったよ。
⑤		どうして私の弟は、「父上のかたきをとったよ」、「法皇様からほうびをもらったよ」なんて無邪気に言ってるんだ。私が、東国で武士による武士のための政治をしようとしてるのが分からないのかあいつは。あー、どうして私の一族は、滅ぼし合いをしてしまうんだ。
⑥		みんなは私のことを「神をも恐れぬ魔王」とか言っているらしいな。だが、よく調べてくれ。私ほど信頼していた人に裏切られ続けた人間はいないんじゃないか。弟に始まり、長政、久秀、村重、光秀、將軍までも。さらに、秀吉も結局は裏切ったのと同じじゃないか。私の治めたまちは治安もよく、くらしやすいと評判になっていたんだよ。新しいことをどんどん取り入れて、世の中を平和にしようと思っていたのに。光秀は、どうして私を…。
⑦		私がつくった金閣は、観光地になっているらしいな。ただ、私の孫がつくった銀閣の方がセンスがいいってよく言われたり、その後の日本の家づくりにも影響を与えたりしているのは、複雑な気分だな。
⑧		大王中心、私の一族中心の国づくりのためには、優秀な蘇我氏が邪魔だったんだ。だから同じ考えの鎌足くんも新しい政治を手伝ってくれた。でも、なぜか私は民衆に人気になかったんだよな。強引に改革を進めたせいかな、無理な戦いを外国にしかけたせいかな。
⑨		私は、10代の頃、みんなのふるさとの道後温泉に来たことがあるんだよ。政権内のごたごたが嫌になって、しばらく温泉で休ませてもらったんだ。元気になってからは、蘇我のおおおじさんや大王のおばさんを手伝って、憲法をつくったり、官僚制度を整えたりと日本の国づくりのためにがんばったんだよ。
⑩		私は道長様の娘さんの家庭教師に抜擢されたわ。でも、何があに入らないのか、朝廷内の女性たちにいじめられるのよね。世界でも有名な「源氏物語」を書くなど、もともと文章を書くのが得意だから、口で言い返せない分、文章で言い返していたのよ。だって言われるだけなんてくやしいもん。同じ時代の、「枕草子」も有名みたいね。作者の人とは、あまり仲がよくなかったのよね。